



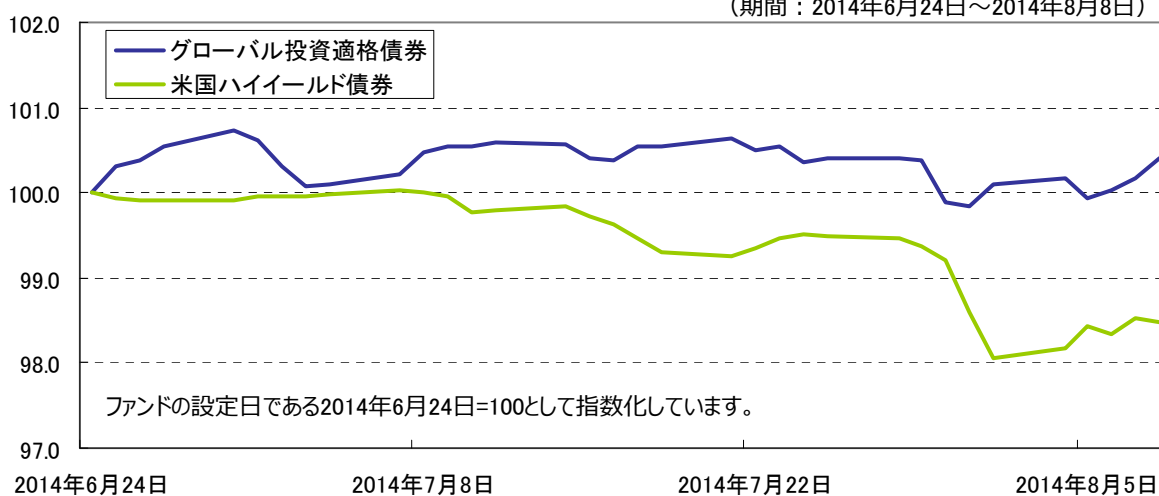
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型) / (年2回分配型) 足下の運用状況と今後の見通しについて

追加型投信 / 内外 / 債券

平素は「PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当ファンドは2014年6月24日の設定以降、リスクを抑えつつ着実な収益の積み上げを目指し、質の高いインカムの発掘と市場見通しに応じた機動的な運用に注力しております。2014年7月以降、ウクライナ情勢の緊迫化など地政学的リスクが高まる環境下、イエレンFRB（米連邦準備制度理事会）議長が議会証言でハイイールド債券の割高感に懸念を示したことなどから、米国ハイイールド債券市場は下落に転じています。
本レポートでは、当ファンドにおける米国ハイイールド債券の保有状況と合わせ、今後の見通しや投資方針について、皆様にご案内申し上げます。

グローバル投資適格債券と米国ハイイールド債券の推移（米ドルベース）

（期間：2014年6月24日～2014年8月8日）



・上記グラフは指数の値を使用しています。指数については【当資料で使用している指数について】をご覧ください。

（出所）パークレイズ社、BofAメリルリンチ社のデータより三菱UFJ投信作成

■米国ハイイールド債券市場の動向について

2014年前半の米国ハイイールド債券市場は、米企業業績が回復に向かうなか、デフォルト率が低水準に維持されていることなどを背景に6月後半にかけて価格は上昇、利回りは低下基調での推移となりました。しかし、7月に入ると、イエレンFRB議長が低格付け社債の割高感に関して言及したことや、新興国の地政学的リスクの台頭により市場参加者のリスク回避姿勢が高まったことなどから下落に転じ、米国ハイイールド債券市場は高値を付けた7月7日から一時-2.0%と大きく下げる局面も見られました。

■ファンドの組入状況について

当ファンドの実質的な運用を行っている外国投資信託のパフォーマンスを見てみると、米国ハイイールド債券市場が高値を付けた7月7日からその後の安値を付けた8月1日までの期間で-0.5%（報酬控除前、米ドルベース）と、米国ハイイールド債券市場と比較して限定的な下落幅となりました。当ファンドでは、米国ハイイールド債券を約20%組み入れて運用を行っておりますが、組み入れている米国ハイイールド債券は相対的に高格付けであるBB-B格を中心としていることに加え、特定の債券セクターに偏ることなく様々なセクターに分散投資を行ったことなどから、米国ハイイールド債券市場の下落による影響は限定的となりました。

■今後の見通しについて

米国ハイイールド債券を発行している企業へ目を向けると、米景気回復の恩恵を受け業績改善につながっていること、デフォルト率は依然として歴史的に低い水準で推移していることから、ファンダメンタルズは従前と変わらず強固な状態にあると考えています。このような状況のなか、デフォルト率対比で十分なスプレッド（上乗せ金利）を有している米国ハイイールド債券の現状の価格水準は、過度に割高であるという状況ではないものと考えます。なお、運用に際しては、相対的に高い信用力を誇る企業が発行する債券や、財務内容の改善がみられる金融セクターや安定的なキャッシュフローが見込まれる通信セクターなどの銘柄に選別投資することなどにより、リスクに留意しながら保守的な投資を行ってまいります。

・上記は過去の実績・状況です。当該見通しな分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

※「当資料に関するご注意事項等」をご覧ください。

PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型) / (年2回分配型) 足下の運用状況と今後の見通しについて

追加型投信 / 内外 / 債券

ファンドの特色

<特色1>世界の幅広い種類の公社債等が実質的な主要投資対象です。

- 主として円建外国投資信託への投資を通じて、世界の幅広い種類の公社債等およびそれらの派生商品等に実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンド(わが国の短期公社債等に投資)への投資も行います。

<特色2>先進国と新興国の複数の通貨(以下「対象通貨」といいます。)に分散投資を行います。

- <世界通貨分散コース>は、単一通貨に投資することのリスクを分散することを目的に、原則として12通貨へ分散投資を行います。また、各通貨の実質的な配分が概ね均等になることを基本とします。対象通貨については、世界各国の長期的な経済構造の変化等を考慮し、入替えを行う場合があります。なお、資本規制等が設けられ、継続的な投資が困難となった場合等には、当該通貨を除外することがあります。
- 原則として、当該外国投資信託の純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り、各対象通貨買いの為替取引を行い、これにより、「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益) / コスト(金利差相当分の費用)」、「為替差益 / 差損」が生じます。

<特色3>「毎月分配型」は毎月の決算時(20日(休業日の場合は翌営業日))に、「年2回分配型」は年2回の決算時(4・10月の各20日(休業日の場合は翌営業日))に収益分配を行います。

- 原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。
- 分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

<特色4>投資信託証券への運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。



市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、公社債等の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債等の価格の下落は基準価額の下落要因となります。また、転換社債は、株式および債券の両方の性格を有しており、株式および債券の価格変動の影響を受け、組入転換社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)

組入外貨建資産の米ドル換算した額については、米ドル売り、各対象通貨買いの為替取引を行うため、各対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で各対象通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、各対象通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。



信用リスク

組入有価証券等(バンクローンを含みます。以下同じ。)の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。



流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。また、バンクローンは、公社債と比べ、一般的に取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。



カントリーリスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

ファンドは、格付けの低い公社債等も投資対象としており、格付けの高い公社債等への投資を行う場合に比べ、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

【当資料で使用している指数について】

■ グローバル投資適格債券：パークレイズ・グローバル総合インデックス

パークレイズ・グローバル総合インデックスとは、パークレイズ社が算出するグローバルベースの投資適格債券の値動きを表す代表的な指数です。同指数は、パークレイズ・バンク・ビーエルシーおよび関連会社(パークレイズ)が開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はパークレイズに帰属します。

■ 米国ハイイールド債券：BofA Merrill Lynch 米国ハイイールド・インデックス

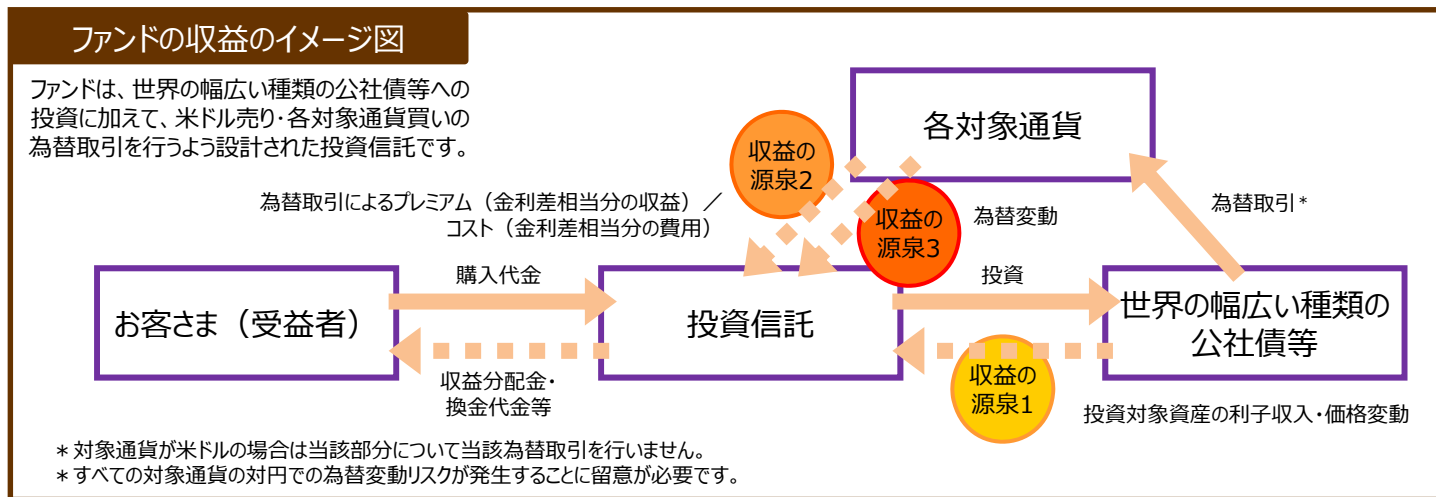
BofA Merrill Lynch 米国ハイイールドインデックスとは、BofA Merrill Lynch社が算出する米国のハイイールド債券の値動きを表す指数です。

※「当資料に関するご注意事項等」をご覧ください。

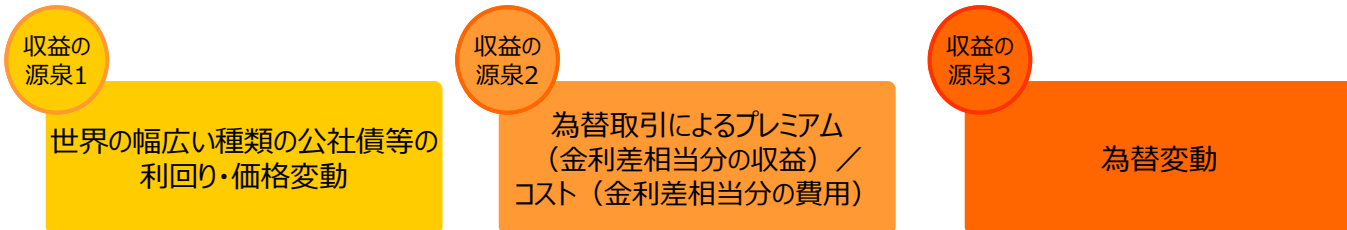
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型) / (年2回分配型)
足下の運用状況と今後の見通しについて

追加型投信 / 内外 / 債券

■通貨選択型ファンドの収益のイメージ

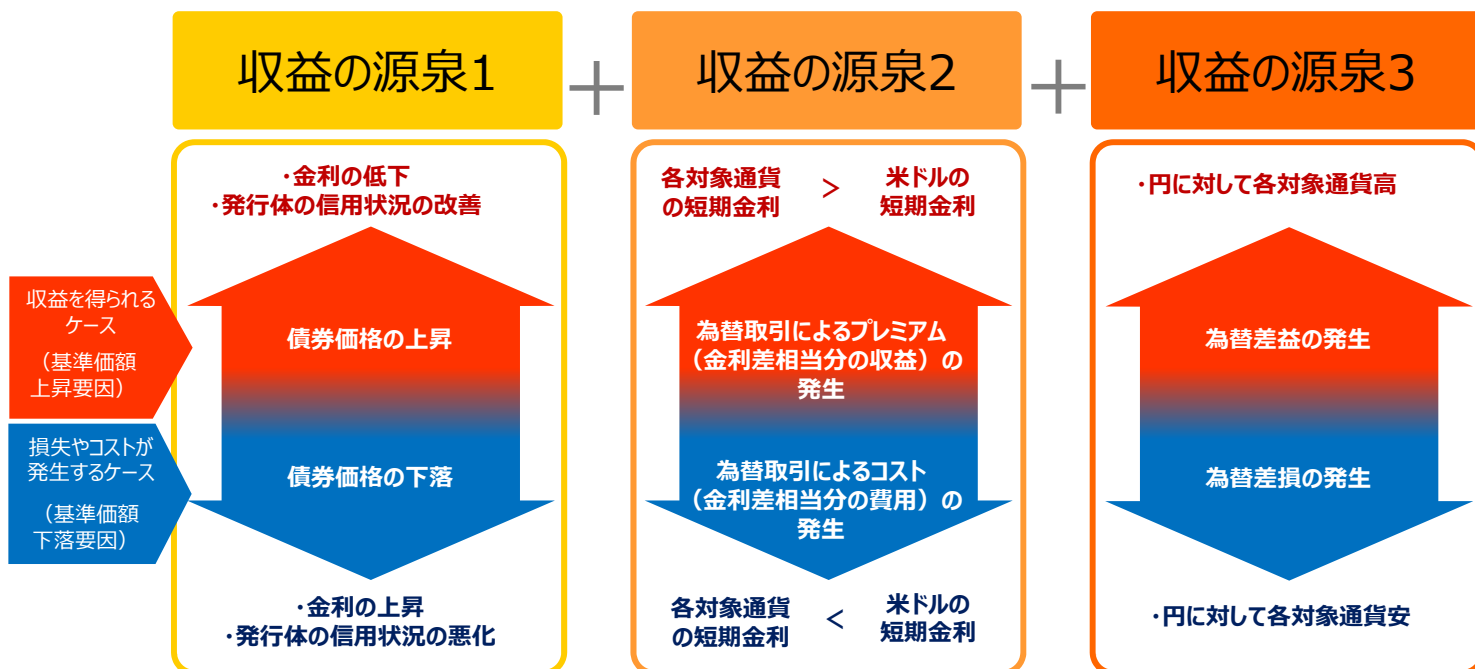


収益の源泉としては、以下の3つの要素があげられます。



収益の源泉と基準価額の変動要因は以下の通りです。

それぞれの収益源に相応してリスクが内在していることに留意が必要です。



※「当資料に関するご注意事項等」をご覧ください。



PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型) / (年2回分配型) 足下の運用状況と今後の見通しについて

追加型投信 / 内外 / 債券

お申込みメモ

ご購入の際は、投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

丸三証券でお申し込みの場合

購入

購入単位
分配金受取りコース（一般コース）：1万口以上1万口単位または1万円以上1万円単位
金額指定の場合、購入単位には購入時手数料（税込）が含まれます。

購入価額
購入申込受付日の翌営業日の基準価額
※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。

購入代金
販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。

換金

換金単位
1口以上1口単位

換金価額
換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金
原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。

締切

申込締切時間
原則として、午後3時までには販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。

制限等

申込不可日
ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日は、購入・換金のお申込みができません。

換金制限
ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。

購入・換金申込受付の中止および取消し
金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。

信託期間

信託期間
2024年4月19日まで（2014年6月24日設定）

繰上償還
各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回るようになった場合、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が30億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。

決算・分配

決算日
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>（毎月分配型）
毎月20日（休業日の場合は翌営業日）
※第1回目の決算日は2014年7月22日

PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>（年2回分配型）
毎年4・10月の各20日（休業日の場合は翌営業日）
※第1回目の決算日は2014年10月20日

収益分配
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>（毎月分配型）
毎月の決算時に分配を行います。
（収益の分配は、原則として第3回決算日（2014年9月22日）から行う予定です。）

PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>（年2回分配型）
年2回の決算時に分配を行います。

課税

課税関係
課税上、株式投資信託として取り扱われます。
少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。

その他

スイッチング
各ファンド間はスイッチングが可能です。
スイッチングの際の購入時手数料については、「お客さまにご負担いただく費用」をご参照ください。
また、換金するファンドに対して税金がかかります。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

※「当資料に関するご注意事項等」をご覧ください。



PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型) / (年2回分配型) 足下の運用状況と今後の見通しについて

追加型投信 / 内外 / 債券

お客さまにご負担いただく費用

丸三証券でお申し込みの場合

購入時	購入時手数料	購入価額 × 3.24% (税抜 3%) (上限) * 販売会社にご確認ください。 <スイッチングの場合> ありません。
保有期間中	運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × 年1.89% (税抜 年1.75%) ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりません。
	その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用、投資対象とする投資信託証券における諸費用等を信託財産からご負担をいただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
換金時	信託財産留保額	ありません。

- ・運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。
- ・購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限りです。)には消費税等相当額が含まれます。
- ・お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

≪購入時手数料に関する留意事項≫

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体的な金額例は以下の通りです。

【金額を指定して購入する場合】

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】～手数料率3.24%(税込)の例～

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×3.24%=32,400円となり、合計1,032,400円をお支払いいただくことになります。

当資料に関するご注意事項等

- 当資料は「PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型) / (年2回分配型)」の運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、勧誘を目的に作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。

ご購入の際には、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

●投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

丸三証券

商号等 丸三証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号
加入協会 日本証券業協会

●設定・運用は



三菱UFJ投信

三菱UFJ投信 オリジナルキャラクター ©kero

商号等 三菱UFJ投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
お客さま専用フリーダイヤル **0120-151034** 受付時間/9:00~17:00
(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
ホームページアドレス <http://www.am.mufg.jp/>

※「当資料に関するご注意事項等」をご覧ください。